

● 令和2年度第2回放送番組審議会

■ 開催日時

令和2年12月24日（木） 13：30～14：30

■ 開催場所

秋田ケーブルテレビ 会議室

■ 出席委員（8名）

放送番組審議会会長 景山 陽一  
 放送番組審議委員 永瀬 幸子  
 清水川 裕一  
 北澤 孝助  
 鈴木 修一  
 佐藤 太郎  
 （順不同・敬称略）

■ 事務局出席者

代表取締役社長 末廣 健二  
 取締役兼コーポレート本部本部長 飯塚 雅子  
 クリエイト本部長 高橋 伸明  
 クリエイト副本部長 田中 康司  
 クリエイト本部マネージャー 佐竹 久美  
 クリエイト本部サブマネージャー 三浦 明之  
 クリエイト本部リーダー 小林 拓也  
 TEAM CNA CREATION 檜垣 賢次  
 コーポレート本部リーダー 伊藤 慶子  
 コーポレート本部 石岡 美香

■ 議事

- ・事務局からの報告事項
- ・自主放送番組についてのご意見

■ 視聴課題番組

番組名
①明日を照らす希望の光 ～日本の花火・花火師そして大曲の矜持～
②わらび座ミュージカル劇場 「北前ザンブリコ」
③県外ロングインタビュー ～故郷 秋田への想い～ #4 工藤 政志
④ナガマツ&ヨネタナ輝く！ 北都銀行バドミントン部 ～栄光への軌跡～

■ 放送番組審議委員からのご意見

【①明日を照らす希望の光 ～日本の花火・花火師そして大曲の矜持～】

- ・番組を見ることで花火の大切さが表現されていた
- ・ナレーションがとてもよかった。淡々と伝えることが心に染み入る。
- ・メッセージ性がある番組だった。
- ・静かな感動を味わえた。
- ・全国のネットワークがすごい、このネットワークを発揮した番組をもっと作ってほしい。
- ・今年見れなかった花火を見ることができてよかった。
- ・花火師の打ち上げている場面の顔がもう少し見たかった。
- ・番組全体を通じて音がもう少し欲しかった、静かな感じがした。
- ・全国であがったエール花火を見る事ができた。
- ・非常に良質なコンテンツであり、県外でも放送して、たくさんの人に見てほしい。

【②わらび座ミュージカル劇場 「北前ザンブリコ」】

- ・カメラワークがとてもよかった。カメラの割り振りなど苦労したのではと考える。
- ・テレビで舞台を見る事で、役者の顔がアップで見えたりするので、役者の視線の動きなども見える。
- ・秋田の演劇を映像として残すことは地域の財産となる。
- ・劇場感がすごく伝わった。
- ・長い休みなどに他のわらび座のミュージカルも映像で見たいと感じた。
- ・ミュージカルを見ることで秋田の歴史を知る事ができる。地元について再発見してほしい。
- ・秋田の歴史を題材とした番組を通じて、劇団を見てもらうアピールになる。
- ・直接劇場に向かえない分、映像として小中学生に見せたい。

【③県外ロングインタビュー ～故郷 秋田への想い～ #4 工藤 政志】

- ・自分たちが知らない秋田の人が活躍している事を知った。
- ・ボクシングの選手ということで、背景にボクシング関連を映したほうが良かった。
- ・インタビューなので、インタビューする側も見たかった。
- ・本人の生々しいコメントがとても新鮮だった。
- ・親近感がわくようなインタビューだった。
- ・あえてスローな感じがとても面白かった。
- ・メニューや目次などのテロップがあってもいいかもしれない。

【④ナガマツ&ヨネタナ輝く！ 北都銀行バドミントン部 ～栄光への軌跡～】

- ・有名なナガマツ、ヨネタナペアの個人の人となりがよく分かった。トップアスリートの素顔が見れてとてもよかった。
- ・北都銀行バドミントン部がよくわかった、応援したくなる番組。
- ・選手だけではなく、監督のインタビューも欲しかった。
- ・有名な選手だけあって、プライベートが見れるのはファンにとって嬉しい。
- ・カット割りなどの技術的な面も素晴らしい。